

取扱説明書



バイクドローリー

注文コード:28552774

このたびは、バイクドローリーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。



警告

この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、
死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。



注意

この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、
その他の物的損害へつながる可能性があります。

■ 組立時・ご使用上の注意

【はじめに】

誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、製造者および販売者は一切の補償、
責任を負いません。また、本製品の分解や改造、修理は、絶対に行わないでください。

●本製品の耐荷重は最大570kgです。耐荷重を超える車両での使用や、
複数の車両を同時に乗せることは絶対にしないでください。



警告

- 本製品は二輪車の移動や駐車を目的に作られています。それ以外の使用用途を想定していません。
本来の用途以外や、乱暴な取扱い方をすると、けがや故障、破損につながるおそれがありますので絶対にしないでください。
- 本製品を組立および使用するときは、次のことを必ずお守りください。
 - ・使用場所は常に整理整頓し、障害になる物は置かないでください。けがをする原因になります。
 - ・可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。
 - ・車体よりバッテリー液やオイル、ガソリンなどが漏れている場合は、本製品を使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。
 - ・けがを防止するために作業手袋、作業着、安全帽、安全靴などの安全保護具を着用してください。
 - ・本製品使用の際、全身にゆとりのある衣服やネックレスなど装飾品の着用は、引っ掛けたり、巻込んだりなどして
思わぬ事故やけがの原因となり危険です。また、頭髮が巻込まれないようにしてください。
 - ・可動部、摺動部に手や指を入れないでください。けがをする原因になります。
 - ・ボルトやネジなどは確実に締めてください。ゆるんだまま使用すると、変形や破損、転倒によりけがをするおそれがあります。
 - ・使用者以外は使用場所に近づけないでください。特にお子様にご注意ください。けがをする原因になります。
 - ・雨が降っている中や、濡れた場所では使用しないでください。転倒により、けがや破損のおそれがあります。
 - ・床に傾斜や段差のある不安定な場所では使用しないでください。転倒により、けがや破損のおそれがあります。
 - ・必ずエンジンを停止させた状態で本製品を使用してください。本製品に車両を置いている状態の際にもエンジンは
掛けしないでください。
 - ・本製品に車両を載せる際、または移動させる際は必ず2人以上で車両を支えながら作業してください。
 - ・本製品に車両を載せて移動する際は必ず別売のベルトなどでしっかり固定してください。
 - ・本製品の使用中は絶対に車両へ乗ったり、車両の上に物を置かないでください。また、強い衝撃を与えないでください。
車両が転倒してけがをする原因になります。
 - ・本製品に車両を載せた状態で前後のストッパーセットのレバーを下げる際は必ず車両を手で支えながら行ってください。
振動で車両が転倒する恐れがあります。
 - ・本製品に車両を載せて駐車する際は必ず前後のストッパーセットのレバーを下げて本製品が動かないことを確認してください。

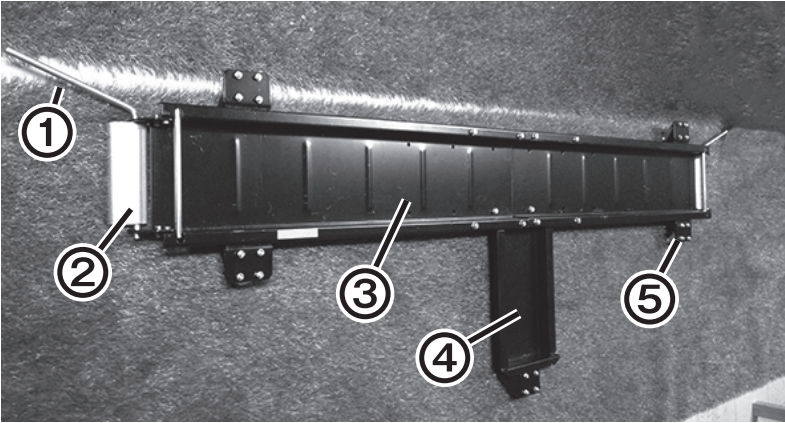


注意

- 組立および使用するときは、作業場所の換気を行い、通気の良い環境で行ってください。
- 高温、直射日光下、周辺温度が40℃を超える環境での使用は避けてください。
- 作業前に組立部品が全て揃ってあることを確認し、各部に錆、傷、損傷がないか確認してください。
- 指定された部品以外を使用しないでください。製品が破損するなど思わぬ事故の原因になります。
- 本製品の使用前には必ず、各部に錆、傷、損傷がないか確認してください。
- 使用時にぶつかけたり、強い衝撃が加わったりしたときは必ず各部を点検し、異常を感じたら速やかに使用を中止してください。
- 本製品は次のような車両に使用することができません。
 - ◇重量が570kgを超える車両 ◇タイヤ幅が190mmを超える車両 ◇全長が1900mmを超える車両

2 各部の名称

■ 各部名称

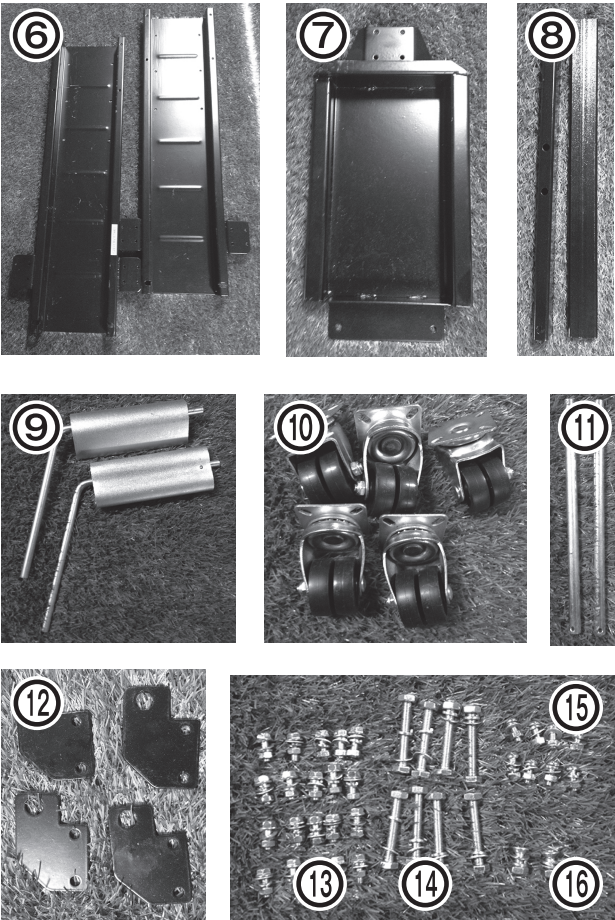


①	レバー
②	ストッパー
③	本体レール
④	サイドレール
⑤	キャスター

対応サイズ	タイヤ幅190mm以下
	車両全長1900mm以下

■ 組立部品一覧

組立前に下図の部品が全て揃っていることを確認してください。

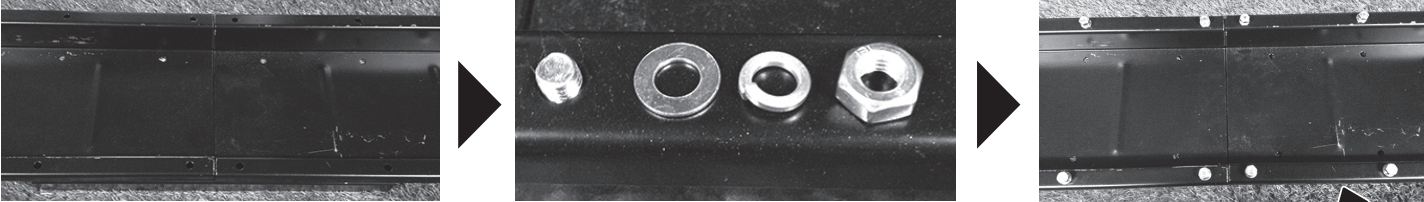


⑥	本体レール	2個
⑦	サイドレール	1個
⑧	固定フレーム	2個
⑨	ストッパーセット	2個
⑩	キャスター	5個
⑪	ボール	2個
⑫	ストッパーセット取付用プレート	4個
⑬	キャスター取付用ネジ	20個
⑭	本体レール取付ネジ	8個
⑮	ストッパーセット取付用ネジ	8個
⑯	サイドレール取付用ネジ	2個

3 ご使用方法

■ 組立

組立部品一覧を参照し組立ててください。



1. ⑥の本体レールを2個接続させ、接続させた箇所の下側に⑧の固定フレームを孔位置を合わせてはめ込み、⑭の取付ネジで固定します。



警告

●組立の際に手や足を挟まないよう十分注意してください。
また、本体レールの転倒によりけがをするおそれがあります。

2. ⑩のキャスター5個の内、4個を組立てた
本体レールの両端へ⑬のネジを使用して取付けます。

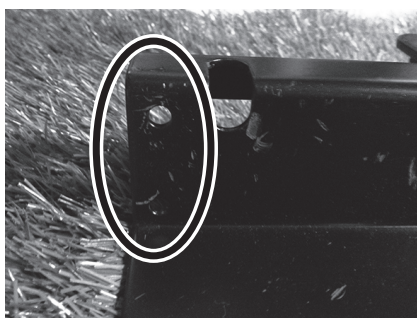
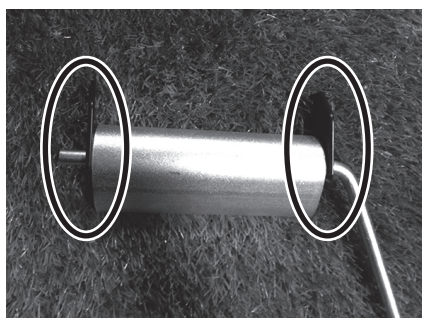


警告

●組立の際に手や足を挟まないよう
十分注意してください。また、本体レールの
転倒によりけがをするおそれがあります。



3. ⑨のストッパーセットのレバーに⑫のプレート
を左右1枚ずつ差込み(下図)、
1. で組立てた本体レールの両端の孔(赤丸)にプレートの孔を合わせて⑮のネジを使用して取付ます。

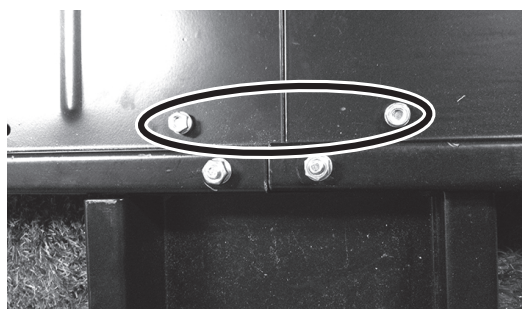
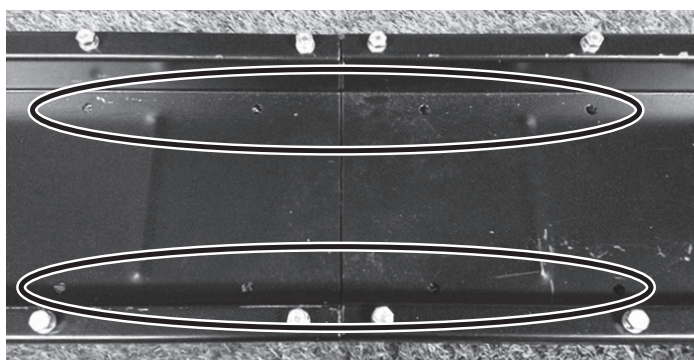


4. ⑦のサイドレールに⑩のキャスター残り1個を⑬のネジを使用して取付けます。
その後、サイドレールの反対側の孔と本体レールの中央にある孔(下左図の丸の箇所)の中の任意の場所へ
⑯のネジを使用して取付けます。
●サイドレールはバイクスタンドの位置などを考慮して任意の場所へ取付け出来ます。5段階の調整が可能です。



警告

●組立の際に手や足を挟まないよう十分注意してください。
また、本体レールの転倒によりけがをするおそれがあります。



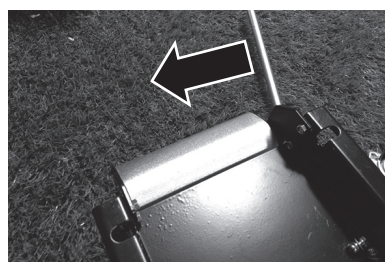
■ 使い方

1. 組立完了した製品を水平で固い地面の上に置きます。
2. 右図の様に、両サイドのストッパーセットのレバーを下へ下ろし、
ストッパーが地面に着いていて、製品が動かないことを
確認してください。
3. バイクをゆっくりと押しながら製品へ載せます。
その後、スタンドをサイドレールへ下ろします。(右図丸)



警告

●必ずエンジンを停止させた状態で
本製品を使用してください。
●本製品に車両を載せる際は必ず2人以上で
車両を支えながら作業してください。
●本製品の使用中は絶対に車両へ乗ったり、
車両の上に物を置かないでください。
また、強い衝撃を与えないでください。



4. バイクを本製品に載せたら、本製品の両サイドに
①のポールを差込みます。(右図)

5. 本製品にバイクを載せた状態で移動する場合、別売のベルトで
バイクをしっかり固定し、その後両サイドのストッパーセットのレバーを
上へ上げ、バイクをゆっくりと押しながら移動させます。

⚠ 警告

- ストッパーセットのレバーを動かす際は必ず車両を
手で支えながら行ってください。振動で車両が転倒する
おそれがあります。
- 本製品に車両を載せて移動させる際は必ず2人以上で
車両を支えながら作業してください。



4 末永くご使用いただくためのご注意

- 定期的に本体レール、サイドレール、キャスター、ストッパーセットなどの各部に損傷やゆがみ、
破損がないか確認してください。異常がある場合は使用しないでください。
- 可動部や摺動部には定期的にグリスを塗布し、正常に作動するかを確認してください。
また、本体を水洗いしたときは、よく乾燥させたあと、必ず可動部や摺動部にグリスを塗布してください。
- 本製品を長期保管するときは、ウエスなどで本体レール、サイドレールなどの各部の汚れをきれいに拭取り、
湿気やホコリのない乾燥した場所で保管してください。
また、施錠のできる場所、子供が手の届かない場所に保管してください。